

第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年2月

応募者名：松山市

事業の名称：都市計画道路『中村桑原線(3工区)』

実施都市名：松山市

事業目的

近年、住居地として急激に拡大した松山市の東部地域と都市部を連絡する幹線道路であり、将来の交通需要の増大に対処するため、東部地域と松山環状線及び市内とのアクセス向上を図ることにより、交通混雑を緩和し、広域都市圏間の交流促進に寄与するため新設されました。

事業概要

事業名称: 都市計画道路『中村桑原線(3工区)』

路線名: 中村桑原線(3工区)

事業箇所: 松山市

事業延長: L=365m

幅員: W=6.5(18.0)m

事業費: 約22億円

事業実施期間: 平成15年度～平成21年度

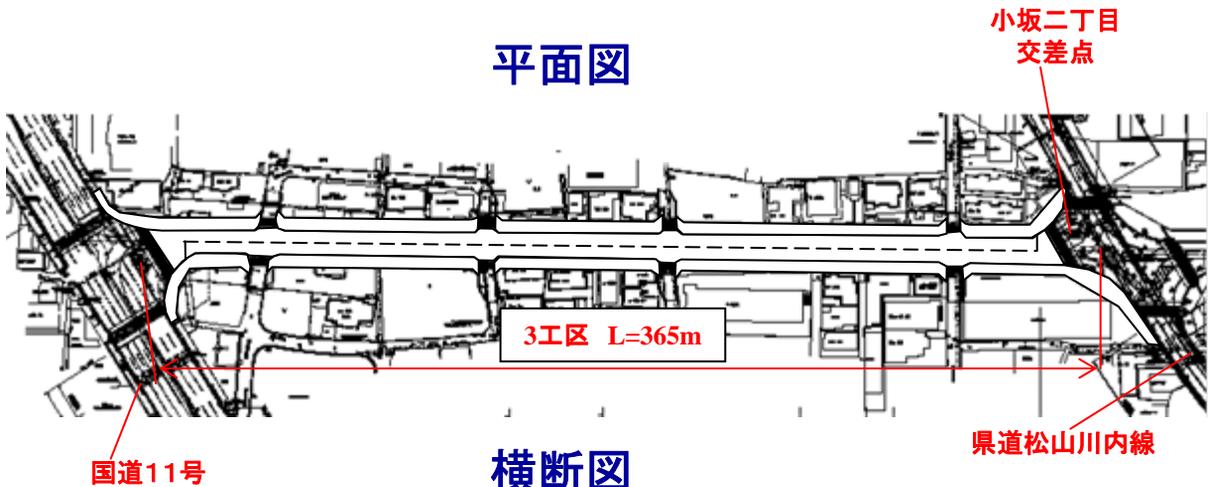
本事業は、国道11号から県道松山川内線を東西に結ぶ都市計画道路であり、道路区分は第4種第1級、車線数は2車線、自転車歩行者道路を両側に配している。

事業位置図

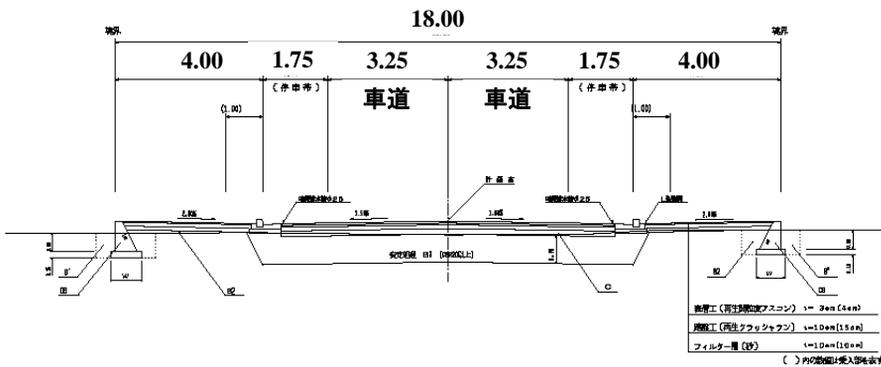


全体図

平面図

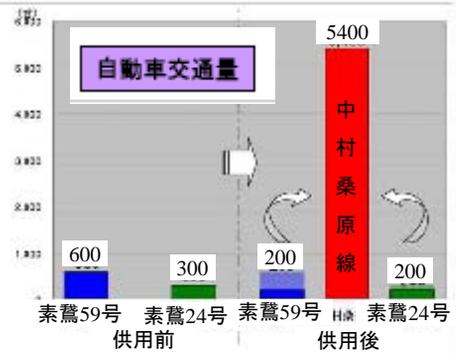


横断図



中村桑原線(3工区)の整備効果アピール資料

交通量(12時間) 供用開始前開始後の比較



所要時間 供用開始前開始後の比較

ルート1	市街方面		郊外方面	
	供用前	供用後	供用前	供用後
平常時	2分	2分	3分	2分
朝ピーク時	4分	3分	3分	3分
夕ピーク時	4分	3分	5分	4分

<中村桑原線ルート>

ルート2	市街方面		郊外方面	
	供用前	供用後	供用前	供用後
平常時	2分	1分	3分	3分
朝ピーク時	4分	3分	3分	3分
夕ピーク時	4分	3分	5分	3分

※供用前所要時間はルート1の値



○事業概要

事業名: 都市計画道路『中村桑原線(3工区)』
 路線名: 中村桑原線(3工区)
 事業箇所: 松山市
 事業延長: L=365m
 幅員: W=6.5(18.0)m
 総事業費: 約22億円
 事業期間: H15年度～H21年度

○交通量調査結果

供用前 実測 0台(新設道路)
 供用後 実測 約5000台
 ・交通量の推移

「整備効果」

交通量への効果

- 既設ルートの自動車交通量の大部分が転換され、歩行者自転車も転換されました。
- 歩道付き道路の整備により安全安心に通行でき、通学路としても利用されています。

アクセス向上の効果

- 市街地、郊外向けのアクセス時間が平常時、ピーク時ともに短縮されました。
- 既設ルートは、ピーク時のアクセス時間が改善されました。

事業前写真

平成19年10月撮影



平成19年10月撮影

平成19年10月撮影



事業後写真

平成22年12月撮影



平成21年3月撮影

平成22年12月撮影

